

下水道使用料誤徴収問題の解消に向けて

平成21年8月、公共下水道に接続されていない建物において誤って下水道使用料を徴収していることが判明しました。関係者の方々には大変ご迷惑をおかけしました。また、市民のみなさまにも本市上下水道事業に対する信頼を失墜させましたことを心からお詫び申し上げます。

このことを受けて、上下水道局では局内に「那覇市下水道使用料誤徴収問題検討委員会」を設置し、誤徴収に至った原因の検証と再発防止策を検討してきました。

具体的には、現存する建物における下水道使用実態の確認調査を本市全域について実施します。さらに、新規申請に対しては、水道と下水道の共通受付簿を

作成するなど、チェック体制強化に向け、事務改善を行いました。今後は、職員一人ひとりが職務に対する自覚と責任の大きさを再認識し、改善策を確実に実施していくことで再発防止に努めてまいります。

また、市民のみなさまも、今度ご家庭の下水道使用状況についてご確認いただけますようよろしく願います。

「つまりは、まだ浄化槽なのに、下水道使用料はとらなっているのかな?」
 などと疑問に思ったら、検針票を確認するか、料金課へお問い合わせください。
 ※検針票は、2か月に1回行っている水道メーターの検針時にポスト等に入

(参考) 検針票

ご使用水量等のお知らせ(検針票)

検針日 平成22年 9月22日 水道番号 7000-700-77

住所 那覇市おもろまち1-1-1

使用者 水道太郎様

料金区分 一般用 世帯数 20 戸 9417804

前月検針日 平成22年7月24日 検針員 量水器 計男

上水道	前月検針 (-)	837 m ³	前年同月使用水量	38 m ³
下水道	前月検針 (-)	798 m ³	前月使用水量	34 m ³
道管水量 (+)	0 m ³	前月使用水量	39 m ³	
合計				

料金区分 一般用

上水道使用水量	20 m ³	前年同月利用水量	m ³
再生水利用水量	m ³	前月利用水量	m ³
下水道使用水量	20 m ³	前月利用水量	m ³
水道料金	3,186 円	前月利用水量	m ³
再生水料金	0 円	前月利用水量	m ³
下水道使用料	1,430 円	前月利用水量	m ³
合計金額	4,616 円	前月利用水量	m ³

区分 8月分 9月分

上水道使用水量	20 m ³	19 m ³
再生水利用水量	20 m ³	19 m ³
下水道使用水量	20 m ³	19 m ³
水道料金	3,186 円	3,001 円
再生水料金	0 円	0 円
下水道使用料	1,430 円	1,348 円
合計金額	4,616 円	4,349 円

上記請求月 平成22年10月 平成22年11月

口座振替 5日 20日 5日 22日

納付制 納期 20日 納期 22日

※料金等には、消費税が含まれています。
 このお知らせ欄では、料金のお支払いはできません。

水道料金等領収済通知書(口座振替・自動払込)

5月分	平成22年7月5日		
水道料金	16 m ³	2,447 円	m ³ 円
再生水料金	m ³		m ³ 円
下水道使用料	16 m ³	1,102 円	m ³ 円
合計金額		3,549 円	***
6月分	平成22年8月5日		
水道料金	17 m ³	2,632 円	m ³ 円
再生水料金	m ³		m ³ 円
下水道使用料	17 m ³	1,184 円	m ³ 円
合計金額		3,816 円	***

上記のとおりご指定の口座から振替(自動払込)させていただきます。

那覇市上下水道局企業出納員

※料金等には、消費税が含まれています。

下水道使用状況の確認方法について

▶下水道を使用している場合は、下水道の使用水量・金額が表示されます。

上水道使用水量	20 m ³
再生水利用水量	m ³
下水道使用水量	20 m ³
水道料金	3,186 円
再生水料金	0 円
下水道使用料	1,430 円

▶下水道を使用していない場合は、下水道の使用水量・金額が0と表示されます。

上水道使用水量	20 m ³
再生水利用水量	m ³
下水道使用水量	0 m ³
水道料金	3,186 円
再生水料金	0 円
下水道使用料	0 円

【お問い合わせ】

料金課:941-7804

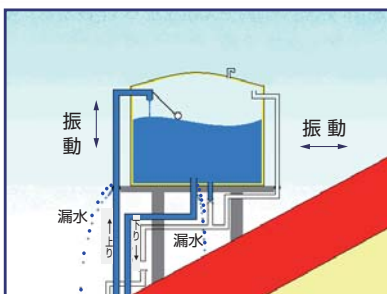
平成22年2月27日の地震による被害について

平成22年2月27日早朝に沖縄本島中南部で地震(那覇市では震度4)が発生しました。この地震では、那覇市の水道施設への被害は、空気弁からの漏水が1件でした。しかしながら市民のみなさまから地震発生当日にご家庭の給水管等の被害について、電話連絡を受けた件数は以下のとおりでした。

給水管等の被害件数(H22.2/27(土)5時31分頃~17時00分)

漏水	73	タンクへの上り・下り管	58
		建物内配管	12
断水	3	土中(埋設部)	3
		ポンプ故障	1
赤水	3	その他	2
			3
合計	79	(電話連絡を受けた件数)	

被害件数の9割は「漏水」で、その8割が高架タンクの上り管と下り管での漏水です。漏水の原因は、地震によりタンク内の水が揺れ、これに接する配管の弱い部分から漏水したものと考えられます。そのほかの被害として「断水」「赤水」が全体の1割となっております。断水は地震動によるポンプ故障やボールタップの動作不良が原因と思われます。また、赤水はタンク内部に沈殿しているサビ等が振動でかき出されたものと考えられます。



地震によるタンクの振動と建物の振動が別の動きをすると、配管部分に引っ張りやすれによる力が加わり、弱い部分や大きな力がかかる部分から破損する。



日頃からタンク周りの点検を行い、もしもの場合に備えておきましょう!

かそうすい 仮想水 (バーチャルウォーター) という考え方

みなさんは、ステーキ200gが作られるまでにどのくらいの水が必要か考えた事がありますか?

日本は多くの牛肉を輸入しています。牛肉を生産するために牛を育て、養う水が必要です。牛肉を輸入しているということは、間接的に水を輸入していることになるのです。海外から輸入しているものをもし日本で作ったとしたら必要となる水のことを「仮想水(かそうすい)」といいます。

ステーキ200gの仮想水は・・・



牛を育てるためには牛の飲み水やえさが必要です。牛のえさも生産するまでに、たくさん水が使われています。

これらの水を合計すると、ステーキ200g作るのに必要な水はなんと・・・

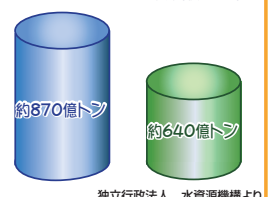


ステーキ200g

風呂水 約22杯分 (風呂水1杯=180ℓ)

日本国内での年間の水使用量は約870億トンといわれています。それに対し、仮想水の輸入量は日本国内の使用量の3分の2に相当する約640億トンといわれています。仮想水で考えると日本はこんなにもたくさんの水を輸入していることがわかります。このように考えると、輸入先の地域の水も多く使っていることになり、地球全体の規模で考えても日本は多くの水を使っていることがわかります。

日本が1年に使用する水(平成18年版水資源白書より) 仮想水(統計年度2000年)



地球全体の水を風呂水1杯分とすると、じかに飲める水は片手ですくえる量しかありません。

水は大切に使いましょう!!